

2012（平成24）年度事業報告書

2012（平成24）年4月1日から2013（平成25）年3月31日まで

特定非営利活動法人おきなわCAPセンター

1 事業の成果

2012年度は行政との協働で行う事業が増え、各事業ともに充実した内容となった。特に、県の児童虐待防止推進事業の委託による学習啓発事業については、広く関係機関にCAPプログラムの存在をアピールすることになった。ワークショップ提供事業についても、市町村との協働事業が増え、沖縄県とも協働で養護施設でのワークショップ提供を行うことができ、関係機関との信頼関係も深めることができた。

(1) CAPワークショップ（暴力防止プログラム）提供事業

209回のワークショップ提供

昨年に続き那覇市（思春期の心と体のための意識啓発事業・66回）からの委託や、4年目となる浦添市（児童虐待防止対策事業・9回）、新規の北中城村（児童虐待防止緊急対応強化事業・34回）と宜野湾市（DV防止及び被害者支援対策事業・9回）の他、沖縄県からの委託（児童養護施設等資質向上事業・38回）も合わせて、209回のワークショップを提供することができた。

DV防止の取り組みとして

大人へのワークショップ提供事業のうち、宜野湾市内（9校）及び那覇市内中学校（11校）での大人ワークショップは、DV防止の一貫としての取り組みとなり、多くの保護者に理解を深めてもらう機会となった。那覇市中学校11校の1年生（55クラス）には、CAPプログラムとともにデートDVについての情報提供をし、正しい知識と相談機関を伝えることができ、先生方とも信頼関係を築くこととなった。

子どもへのワークショップ提供については、学校単独の依頼は少なく、市町村・県からの委託に支えられ数字を保てた状態であり、この点については今後の課題である。

施設とのネットワーク再構築へ

児童養護施設でのワークショップについては、沖縄県青少年・児童家庭課の児童養護施設等資質向上事業により全児童養護施設へ子どもワークショップを届けることができた。どの施設も過去にワークショップを行った経緯があるが、本事業により、施設職員とのネットワーク構築の再スタートとなった。

寄付システム「ぱくと」により、西崎特別支援学校、沖縄高等特別支援学校、中部農林高校でワークショップを実施することができ、職員や保護者から大変喜ばれ

た。寄付によるワークショップ提供という新たな形の市民による支援方法を生み出すこととなった。

気持ちのワークショップの実施

児童養護施設職員に向けてのワークショップで「気持ちのワークショップ」を取り入れた内容は好評だったこともあり、継続校・施設へ次年度以降実施する場合のプログラム内容に期待が寄せられている。

(2) ワークショップ提供のための人材育成事業

赤い羽根共同募金の助成事業

沖縄県共同募金会の助成を受け、「CAP スペシャリスト養成講座（実践編）」を開催して、CAPプログラムを提供する人材を新しく11人養成することができた。フォローアップ講座として既存メンバーも一緒に参加することで、それぞれスキルアップを図ることができ、さらに充実した子ども支援を行えるようになった。定例会においても、ビデオを用いたのワークショップ練習に力を入れ、メンバーが自信を持って役割をステップアップできるよう取り組んだ。

新しいプログラムの開発・養成

豊見城市民が取り組むDV防止協議会より委託を受け、思春期から若者向けのDV防止講座の開発を行った。その一貫として、思春期の子ども人間関係づくりとデートDV防止のための「さくらんぼプログラム」を提供する人材育成の養成講座を行い、おきなわCAPセンターより16人のプレゼンターが誕生した。同プログラムの取り組みについては、方向性を模索中である。

研修への派遣・講師の招聘

県外研修として、「九州・山口CAPのつどい」へ上野さやかを派遣。九州地区のCAPグループ参加者と、お互いの課題や取り組みなど意見交換をして出し合い交流を深めることができた。そのほか県内で実施される会計等の講習に事務局担当者を派遣し、次年度以降の実務の効率化につなげることができそうである。外部からゲスト講師を招き（ゲートキーパー養成講師、性教育等）子どもを支援するための専門知識を身につけるなど、多方面からのスキルアップに努めることができた。

(3) 子どもへの暴力防止についての学習・啓発事業

総会記念講演会の実施

2012年総会記念講演として代表理事の長田清を講師に人気講座の「思春期の子どもとは、解決志向でうまくいく」と「学校で活かすいじめへの解決志向プログラム」（5月27日）を開催。思春期の子どもとのつきあい方や、現場ですぐに使えるいじめへの対処法について、参加者に楽しく且つわかりやすく学んでもらうことができた。

沖縄県との協働事業①～児童虐待防止推進事業

また、沖縄県より委託を受け、平成 24 年度沖縄県児童虐待防止推進事業として離島も含め、5 回の講演会を企画、運営。広く県民に児童虐待問題について周知するとともに、子どもへの虐待や暴力について多くの大人に身近なこととして考えてもらうことができた。

当団体代表理事長田清による「思春期の子どもとは、解決志向でうまくいく」（9 月宮古島）を皮切りに、県外からも 4 名の講師を招いて開催。10 月「あなたが守る子どもの権利～アタッチメント形成から見る、しつけと体罰～」(西澤哲氏)、11 月「悩めるアナタに贈る心のヒント」(大日向雅美氏)、「もっと楽しくゆつくりと～生きるチカラを高める子育て～」(森田ゆり氏)、1 月「子どもたちに寄り添う～いじめ、虐待、非行の現場から～」(坪井節子氏)と、全 5 回すべてが大盛況で、県民向けと専門職向け、それぞれ子どもの人権について参加者に理解を深めてもらうことができた。

沖縄県との協働事業②～児童養護施設等資質向上事業

沖縄県児童養護施設等資質向上事業の委託を受け、小栗正幸氏を講師に専門職向け講演会「発達障害と少年非行」を開催。また、若夏学院においては、職員が抱えている問題について、小栗氏を囲んでのケース検討会議を行い、事務コーディネイトを担った。講演会、ケース検討会議ともに、参加者に新たな視点の専門技術と知識を身につけてもらうことができ、団体としても若夏学院との今後の連携の可能性が期待できる。

(4) 地域ネットワーク事業

行政・企業とのネットワーク強化

「那覇市要保護児童対策地域協議会代表者会議」「すこやか親子 2010」「子ども支援ネットワーク会議」に出席して、子どもを支援する関係機関との連携強化を図った。他にも「なは円卓会議」「NPO と企業のための寄付と社会貢献相談会」においては、企業や行政、報道機関等に活動を紹介し、企業との協働にも力を入れることができた。

インターンシップ、フィールドワーク等の受け入れ

那覇看護専門学校からの依頼でインターンを受け入れ、学生たちに CAP の活動内容や子どもへの虐待について説明する他、通信や虐待防止講演会案内文の発送作業や、大人ワークショップへ参加してもらうことで、子どもへの暴力防止について丁寧に伝えることができた。また、那覇市教育委員会より教職員 1 名を「教職員の 10 年度研修」の一環として受け入れた。その他、ぐしかわ看護専門学校、沖縄国際大学、キリスト教学院大学の学生をフィールドワークで受け入れた。教職員や看護師になる学生へエンパワメントの考え方、支援の在り方について伝えることで、C

A Pの理念・知識をより社会に広めることができたのは大きな成果である。

ご入学おめでとう大会への講師派遣

さらに、沖縄タイムス社主催の「ご入学おめでとう大会」へメンバーを派遣して新1年生とその保護者へ「自分を大切にする」というテーマで話し、入学前の不安な気持ちを和らげるとともに、おきなわCAPセンターの活動を多くの県民へ伝えることができた。

その他、募金活動やパレードへの参加

その他、赤い羽根共同募金活動、児童虐待防止パレードへの参加、沖縄県人権啓発公演会の司会、豊見城市民が取り組むDV防止協議会の講演会サポートなど、他団体との連携を強め、メディアにおいては、ラジオ「FMとよみ」や「FMタイフーン」に出演して県民に活動のPRとイベントの告知を行うことで、暴力のない平和な社会をめざす活動を進めることができた。

(5) 会報等の発行事業

通信を2回発行。会員と関係機関へ届ける他、広報活動と新規会員を増やすためにも広く配布した。また、ホームページとブログも随時更新しながら、講座や講演会、ワークショップの案内や報告を行うなど情報の発信に努めた。

(6) その他、目的を達成するために必要な事業

初の試みとなるチャリティイベント「平和祈念公園へランフォーピース」を、みらいファンド沖縄、HIV人権ネットワーク沖縄と協働で開催。参加者が平和祈念公園内に設置された各ポイントで、親子または家族や仲間で、「平和」について語り合い、互いの大切さや対話することの楽しさを考え、体験することができた。また、社会課題の解決に取り組む2団体の活動資金造成の機会として、企業から協賛と寄付を募る他、「走る・歩くことで社会貢献する」という市民自らが公益活動を支える市民協働の実現を目指す先進的取り組みとなった。

2 特定非営利活動に係る事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施場所	従事者数 (人)	受益対象者 (人)	支出額 (千円)
子どもへのCAPワークショップ (暴力防止プログラム) 提供事業	小学生ワークショップ	30回 北中城16、上田7、伊良波3、島袋4	約20	914	7,922
	就学前ワークショップ	13回 相愛幼稚園、北中城幼稚園4、宮城ヶ原保育所、大平保育所、内間保育所、小湾保育所、喜舎場保育所、屋宜原保育所、座安保育所2		292	
	中学生ワークショップ	55回 首里6、古蔵6、鏡原5、石嶺4、上山4、金城7、仲井真5、神原4、寄宮5、那覇6、松城3		2035	
	高校生ワークショップ	3回 嘉手納、中部農林2		122	
	その他	39回 児童養護施設34(美さと、袋中園、ならさ、漲水、愛隣園、石嶺、島添の丘、なごみ) 沖縄高等特別支援学校3、北中城村学童ふれあいクラブ2		513	
	気持ちのワークショップ	5回 沖縄市男女共同参画センター、美さと児童園3、石田中	5	80	
大人へのCAPワークショップ 提供事業	大人ワークショップ (保育所、幼稚園、学校)	37回 沖縄東中学校、相愛幼稚園、ほとりの木保育園、北中城幼稚園、首里中学校、宮城ヶ原保育園、古蔵中学校、大平保育所、鏡原中学校、宜野湾小学校、北美小学校、上山中学校、石嶺中学校、内間保育所、北中城小学校、志真志小学校、嘉教小学校、長田小学校、仲井真中学校、金城中学校、中部農林高校、神原中学校、普天間小学校、大謝名小学校、普天間第二小学校、上田小学校、小湾保育所、大山小学校、沖縄高等特別支援学校、伊良波小学校、松城中学校、奥間小学校、寄宮中学校、那覇中学校、アメリカンスクール、喜舎場保育所、座安保育所	約20	1048	
	教職員ワークショップ	6回 西崎特別支援学校、嘉手納高等学校、島袋小学校、座安保育所、沖縄高等特別支援学校、喜名保育所		131	
	その他 連携機関、大学、児童養護施設等	24回 北中城村要保護児童対策地域協議会、沖縄県里親会2、沖縄国際大学、美さと児童園2、沖縄市男女共同参画課、那覇市中央公民館家庭教育学級、うるま市児童家庭課、名桜大学、児童養護施設ならさ、袋中園星雲寮、漲水学園、愛隣園、児童養護施設なごみ、石嶺児童園、沖縄県立北部病院、読谷村子ども未来課3、島添の丘、読谷村社会福祉協議会、北中城村学童ふれあいクラブ、浦添市子育て支援センター		440	

	主催ワークショップ	2回 6/13 那覇市総合福祉センター会議室 2/12 沖縄タイムス2階ギャラリー		18	
	本の販売	適宜 県内	約20	300	
ワークショップ提供のための人材育成事業	スペシャリスト養成講座実践編	1回 県立武道館	5	11	1,012
	内部研修会	7回 11/26 ・児童相談所の役割 12/25 ・教職員Wプログラムづくり 12/26 ・教職員WS重点テーマ「いじめ」 2/15 ・ゲートキーパーの心得 3/8 ・子どもと性教育 3/29 ・就学前・養護施設教職員WS研修 3/30,31 ・さくらんぼプログラム養成講座	4	87	
	研修派遣	県内研修2回 12/5 ・ファンドレイザーというお仕事 1/11 ・NPO会計講座	4	4	
		県外研修1回 8/18,19 福岡県（九州・山口CAPのつどい）	1	1	
	定例会	12回 ている、なは女性センター他	4	100	
子どもへの暴力防止についての学習啓発事業	公開講座・講演会	10回 5/27 ・思春期の子どもとは、解決志向 5/27 ・いじめへの解決志向プログラム 6/21 ・子どもから見えるDV 9/9 ・思春期と解決志向 10/5 ・あなたが守る子どもの権利 11/3 ・悩めるアナタに贈る心のヒント 11/29 ・生きるチカラを高める子育て 1/26 ・子どもたちに寄り添ういじめ虐待 3/12 ・若夏学院ケース会議 3/12 ・発達障害と少年非行	10	1221	4,256
地域ネットワーク事業	地域ネットワーク会議	7回 5/14 ・那覇市要保護児童対策地域協議会 6/4 ・公益事業コミュニティサイト勉強会 6/12 ・なは円卓会議 10/12 ・ぐしかわ看護専門学校担当職員面談 11/23 ・子ども支援ネットワーク会議 2/26 ・すこやか親子2012 3/17 ・NPOと企業のための社会貢献相談会	8	21	108
	インターン等受け入れ	5回 ・那覇看護専門学校・キリスト教学院大学 ・ぐしかわ看護専門学校・沖縄国際大学 ・那覇市教育委員会10年度研修	5	36	

	その他	4回 ・沖縄タイムス社主催ご入学おめでとう大会（1/20 那覇市、2/2 うるま市、1/26 名護市） ・11/9 那覇市虐待防止推進月間パレード	3	約 3500	
会報等の発行事業	会報の発行 ホームページ	年2回 随時 事務所	5	600	194
その他、目的を達成するために必要な事業	チャリティイベント「ランフォーピース」	1回 平和祈念公園・平和祈念堂	約40	140	283
	事務局活動	総会 年1回 理事会 年2回 事務局会議 年24回 労務・会計など	4	約20	148